

謹んで 新年のごあいさつを 申しあげます



新年明けましておめでとうございませす。市民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。また、日ごろより市政全般にわたり深いご理解とご支援、ご協力を賜り心より厚くお礼申しあげます。

昨年一年間を振り返ってみますと、国内外でいまだ出口の見えない厳しい経済低迷の中、閉塞感漂う一年だったように思われます。12月の総選挙で大きく政権が移行しました。新政権には震災の完全復興はもろろのこ、国内景気の回復、雇用の安定を目指し、真に国民が希望の持てる政策の展開を望むものであります。

そのような中、昨年の本市でもさまざまな出来事がありました。特に7月の九州北部豪雨は、各地に甚大な被害をもたらしました。本市では人的被害は無かったものの、家屋の倒壊や浸水、道路の損壊などこれまでに類を見ない大きな被害を受けました。被災されました皆さまには、心よりお見舞いを申しあげます。また、復旧に際し皆さまから頂きました善意と復旧ボランティアに対しまして改めてお礼申しあげます。

9月には、泗水地区の一部の住民の皆さまより分離独立を要望する署名が提出されました。これも行政に対する市民の厳しい声として真摯に受け止めなければならぬと考えております。4月には行政改革の一環として市立3保育園の民営化を行いました。

一方、3月には小惑星探査機「はやぶさ」の帰還展示を行いました。宇宙を身近なものと感じ、広い視野を持った子どもたちの育成に寄与することを願っての開催でありました。またロンドンオリンピックでは、本市出身の江里口匡史さん、牧野幸雄さんの2人が出場され活躍されたことは、本市の誇りです。

そして、10月には西郷隆盛が縁となり、鹿児島県の龍郷町と友好都市を締結することができました。青少年を中心とした今後の交流の発展に大きく期待するところでです。

さて、新年に目を向けますと、合併後9年目を迎える本市でも、厳しい行財政運営を強いられる中で、少子化による小学校・幼稚園の統廃合といった行財政改革をはじめ、地域の活性化のための新たな施策にも取り組まねばなりません。

初春を迎え謹んでごあいさつを申しあげます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。日ごろから、私ども市議会にお寄せ戴きましたご理解とご支援に対し、改めて心より厚くお礼申しあげます。

さて、国においては長引く景気の低迷、財政状況の悪化、環境問題や雇用問題、少子高齢化の対策などに加え、東日本震災の復旧・復興も喫緊の課題として今年も引き続き取り組まれるところですが、このことは本市にとっても同様のことであります。特に、昨年7月12日に発生しました九州北部豪雨によりまして、多くの家屋が被災し、道路や小・中学校をはじめとす

昨年着手しました泗水地区の富の原公園もこの3月には竣工の予定ですし、泗水地域交流センター（仮称）や桜山地区公園の建設にも着手する予定です。これらは新たな交流の場として地域の活性化に大きく寄与するものと考えています。また、今年も熊本県でも広域的に組織の改革が予定されており、振興局も県北・県央・県南と広域再編される予定です。そのような中、県北の中心として菊池市に、例えば、県営のスポーツ施設の誘致も視野に入れた今後の取り組みが考えられます。

本市の自然・文化・歴史・観光資源を活用した菊池のPRは今後も継続して続けて行く必要がありますし、観光宿泊客の誘致はもちろん、交流人口の増加にも力を注ぎ、人々が行き交う活力あるまちづくりを目指さなければなりません。また雇用の創出、自主財源の確保のために、本年完成します旭志川辺の菊池テクノパークを中心とした工業団地への企業の誘致も、県の企業立地課ならびに本市議会と連携を取りながら積極的に進めてまいります。

今後とも健全な行財政運営を第一に、新市が目指す「豊かな

る公共施設が甚大な被害を受けました。こうした中、緊急に国・県に予算確保などの要望を行い1日も早い復旧に向け、議会も全力で取り組んでまいりました。が、今後も復旧はもとより、災害に強いまちづくりを進める必要性を強く感じるところでございます。

さらに農業問題につきましては、本市の基幹産業であります農業経営が安定しなければ商工・旅館業をはじめとする地域経済はますます低迷するとの理念に基づき、本年も議会一丸となりその対策に全力で取り組む所存であります。同時に、企業誘致による地域雇用の創出、定住の促進、自主財源の確保などのため、議会の企業誘致促進特別委員会も執行機関ともども全力で取り組んでまいります。

議会の使命は言うまでもなく、市執行機関から出された具体的政策などを最終的に決定し、執行機関の行財政の運営などが適法・適正に執行されているか批判、監視することであり、昨年同様、総務文教、福祉厚生、経済建設の各常任委員会を中心に、必要であれば特別委員会を設置し、議会の使命を果たすべく取り組んでまいります。



水と緑、光あふれる田園文化の「まち」をまちづくりの理念とし、新市総合計画に基づき、質の高い住民サービスと安全で安心な、災害に強い住み良いまちづくりの実現に向けた取り組みを進めてまいります。本年も市民の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

結びに、新しい年が夢と希望に満ち溢れ、市民の皆さまお一人お一人の笑顔が輝き、幸せを実感できる一年となりますことを心よりご祈念申しあげ年頭のごあいさつといたします。

平成25年 元旦
菊池市長 福村三男

安全で安心な災害の少ない
住み良いまちづくりを目指して

菊池市長 福村三男

が、今年さらにはさらに市民の皆さまに開かれた公平、公正な議会運営に努めてまいりたいと思っております。そのために、議会として皆さまに報告する場、意見交換をする場などを設けるよう検討し、実現したいと考えております。

本年もより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげますとともに、この1年が皆さまにとって実り多い年でありますようお願いし、新年のごあいさつといたします。

平成25年 元旦
菊池市議会議長 山瀬義也

市民に開かれた
公平・公正な議会運営を目指して

菊池市議会議長 山瀬義也

